

【昨日の市況概要】				公示仲値	149.68
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	149.78	1.0826	162.08	1.2854	0.6548
SYD-NY High	150.88	1.0835	162.88	1.2862	0.6560
SYD-NY Low	148.51	1.0778	160.97	1.2727	0.6490
NY 5:00 PM	149.41	1.0792	161.28	1.2735	0.6502
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,347.97	▲ 494.82	日本2年債	0.4600%	0.0200%
NASDAQ	17,194.15	▲ 405.26	日本10年債	1.0300%	▲0.0300%
S&P	5,446.68	▲ 75.62	米国2年債	4.1554%	▲0.1021%
日経平均	38,126.33	▲ 975.49	米国5年債	3.8431%	▲0.0719%
TOPIX	2,703.69	▲ 90.57	米国10年債	3.9808%	▲0.0517%
シカゴ日経先物	36,895.00	▲ 1,805.00	独10年債	2.2475%	▲0.0535%
ロンドンFT	8,283.36	▲ 84.62	英10年債	3.8835%	▲0.0835%
DAX	18,083.05	▲ 425.60	豪10年債	4.0650%	▲0.0430%
ハンセン指数	17,304.96	▲ 39.64	USDJPY 1M Vol	11.19%	▲0.51%
上海総合	2,932.39	▲ 6.36	USDJPY 3M Vol	10.36%	0.17%
NY金	2,480.80	7.80	USDJPY 6M Vol	9.89%	0.01%
WTI	76.31	▲ 1.60	USDJPY 1M 25RR	▲2.07%	Yen Call Over
CRB指数	273.59	▲ 4.53	EURJPY 3M Vol	9.94%	0.17%
ドルインデックス	104.42	0.33	EURJPY 6M Vol	9.57%	0.11%

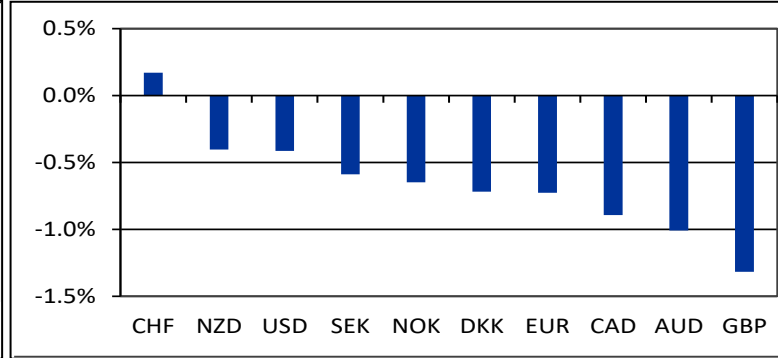
東京	東京時間のドル円は149.78レベルでオープン。午前中は、市場参加者が少ないことに加えて、日経平均株価が大幅下落するのを横目に、円買いドル売りの流れが強まり、昼頃には148円半ばまで下落。しかし、その後は流れが反転し午前中の下げ幅を徐々に縮小させるなか、150.03レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、150.03レベルでオープン。立ち上がり149.44まで売られるも、ドルが堅調に推移する中、一時150.88まで上昇。その後150.61でNYに渡った。ポンドドルは、1.2823レベルでオープン。全般にドル買いに押され1.2752まで下落する立ち上がり。正午に英中銀が予想通り0.25%ポイント利下げし、政策金利を5.00%とすると若干売られたものの材料出尽くしか反発。1.2795でNYに渡った。
ニューヨーク	前日に発表された7月FOMCの結果や、日経平均株価の軟調な展開を受け、148.51まで値を下げる。その後は米短期金利の上昇や、ショートカバーがあった事を受け徐々に値を戻し、150.61でNYオープン。朝方に発表された米第2四半期単位人件費が予想を下回った事に加えて、米新規失業保険申請件数も約1年ぶりの高水準を記録。続いて発表された米7月ISM製造業景況指数も予想より悪化した、米景気減速の思惑からドル売りが優勢となり、150円台を割り込み、149.60付近まで下落。午後は米長期金利が4%台を割り込む展開が重しとなり、149.29まで続落し、その後149.41でクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。英中銀会合の結果発表を控え、ポンド売りの流れがユーロ売りにも波及し、ユーロドルはじり安で推移し、1.0778まで下落。その後は下げ渋り反発し、1.0793でNYオープン。午前中は先述の冴えない米経済指標の結果を受け、米金利の低下が支えとなり、1.0818まで反発。しかし、その後は独金利も低下する動きが上値を抑え、1.0780まで反落。午後は1.0790付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、1.0792でクロス。

【昨日の指標等】						結果	予想
Date	Time	Event					
8月1日	10:30	豪	貿易収支	6月	A\$5,589m	A\$5,000m	
	10:45	中	Caixin中国製造業PMI	7月	49.8	51.5	
	16:55	独	製造業PMI・確報	7月	43.2	42.6	
	17:00	欧	製造業PMI・確報	7月	45.8	45.6	
	18:00	欧	失業率	6月	6.5%	6.4%	
	20:00	英	イングランド銀行政策金利	1-Aug	5.00%	5.00%	
	21:30	米	新規失業保険申請件数	27-Jul	249k	236k	
	22:45	米	製造業PMI・確報	7月	49.6	49.6	
	23:00	米	建設支出(前月比)	6月	-0.3%	0.2%	
	23:00	米	ISM製造業景況指数	7月	46.8	48.8	
【本日の予定】						予想	前回
Date	Time	Event					
8月2日	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	7月	175k	206k	
	21:30	米	失業率	7月	4.1%	4.1%	
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	7月	0.3%/3.7%	0.3%/3.9%	
	23:00	米	製造業受注(前月比)	6月	-3.2%	-0.5%	
	23:00	米	製造業受注(除輸送)	6月	-	-0.7%	
	23:00	米	耐久財受注(前月比)・確報	6月	-6.6%	-6.6%	
	23:00	米	耐久財受注(除輸送用機器)・確報	6月	0.5%	0.5%	
	8月3日 09:30	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-	-	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.00-150.50	1.0720-1.0850	159.50-162.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は149円台後半から始まり、前日の日銀の利上げ、ハト派的なFOMCを受けて売り優勢となり、148円台半ばまで下落した。その後こもとの急激な下げに反発する形で買い戻しが入り150円台後半まで上昇した。NY時間発表のインシャルクレームやISM製造業といった指標がいずれも弱含む中、米金利の低下に連れてドル円は149円台半ばまで下落した。

本日のドル円は軟調な推移を予想する。日米中銀の対照的なスタンスを背景に2024年前半の上げが巻き戻される展開が続いており、本日も引き続きドル円は弱含む展開となりそう。ただし海外時間に米雇用統計の発表を控えており、米労働市場の趨勢を見極めたい思惑から、慎重な値動きとなるか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。